石巻専修大学
●「石巻専修大学」ホームページ●
http://www.isenshu-u.ac.jp

代表電話番号
0225(22)7711
広報専用FAX
0225(22)7809

渡部大樹さんが1級合格

第125回日商簿記検定試験

合格率8.7%の難関突破

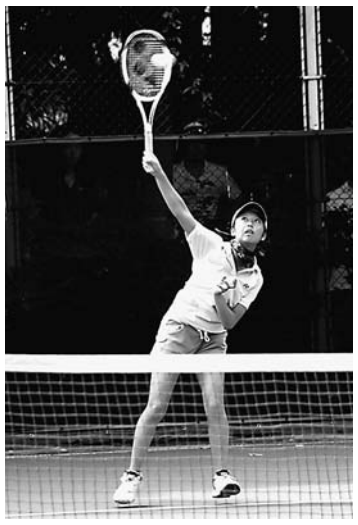
6月13日に行われた日本商工会議所主催の第125回日商簿記検定試験で、経営学部4年の渡部大樹さん（秋田県湯沢商工高）が1級に合格した。

実受験者数1万5367人のうち合格者数1338人、合格率8・7%という難関を突破した渡部さんは、昨年から本学で開講している簿記講座を受講。「以前は独学で勉強していましたが、限界を感じていました。講座を受けることによってより早く正確な学習ができるようになりました」と、合格の要因を話している。

渡部さんは石鳳会計研究会に所属。「友人と協力しながら学習を進めることができ、分からないところを早く解決することができました」とも述べ、サークルでの切磋琢磨も合格につながったようだ。「次の目標である税理士試験の合格に向けてさらに頑張りたい」と、意欲を新たにしている。

全経簿記能力検定 2人が1級合格

また、7月11日に行われた全国経理教育協会主催の第162回全経簿記能力検定試験では、工藤友貴さん（経営3・宮城県塩釜高）と佐々木美咲さん（経営2・宮城県鹿島台商高）がいずれも1級に合格している。



▶「楽しくプレーできた」と和田さん（撮影＝専大スポーツ編集部　川村真樹さん・文1）

全日本学生テニス選手権出場の和田咲良さん

目標の1回戦突破

「平成22年度全日本学生テニス選手権大会」（インカレ＝主催・全日本学生テニス連盟）が8月27日から9月5日まで、東京・有明の有明テニスの森公園で行われ、本学から女子シングルスの試合に出場した和田咲良さん（経営1・宮城県泉館山高）は、目標としていた1回戦を見事突破したものの、2回戦で惜しくも敗退した。

8月28日の1回戦は山口智妃呂選手（東海学園大）と対戦。2―1で和田さんが勝ち上がった。30日の2回戦では健闘むなしく栗林千聡選手（関西大）に敗れた。

和田さんは「目標にしていた1回戦突破を果たし、大変うれしいです。とても楽しくプレーできました。これも監督、顧問の先生、テニス部員の皆さんの協力のおかげです。今後も感謝の気持ちを忘れずに、来年のインカレに向けて努力していきます」と話している。

電気自動車エコラン競技大会

川島、山本研究室の4年次生 初参戦で見事完走

「2010電気自動車エコラン競技大会inSUGO」が8月21、22の両日、宮城県村田町のスポーツランドSUGOで行われた。理工学部機械工学科自動車工学コースの川島純一研究室、山本憲一研究室の4年次生が本学として初参戦。両チームとも見事完走を果たし、川島研究室の「無雷亜乃（あの）」号が大学部門で2位となった（総合は18位、結果は別表参照）。

この大会は支給されたバッテリーや制限質量内で自作したバッテリーなどを用い、2時間での周回数を競う。両研究室は日ごろの成果を生かし、抵抗や効率を計算しながら車両を製作し、大会に臨んだ。

学生を引率した川島教授は「初参加だったが、両車両とも完走できた。順位もまずまずで上出来だと思う。来年はさらに上位を目指したい」と話している。

▶無雷亜乃号を前にガッツポーズ（川島研究室）

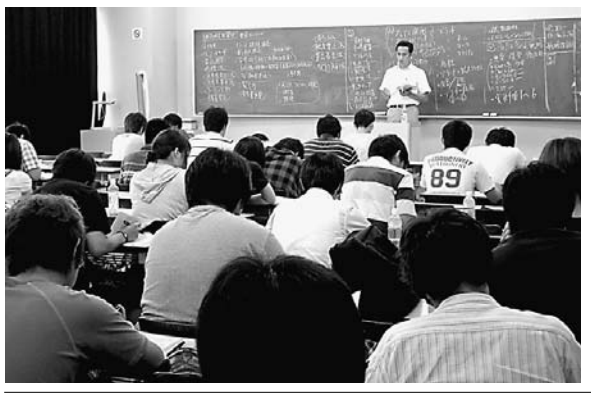
無雷亜乃（川島研究室）		キャプテン菅原GO（山本研究室）
18位／41台	総合順位	28位／41台
8位／17台	オープンクラス	13位／17台
2位／9台	大学部門	6位／9台

夏の資格講座でキャリアアップ

夏期休暇中の恒例となっている「資格講座」（学生支援係主催）に、今夏も延べ294人の学生が参加。自らの将来を見据え、どの顔も真剣そのものだった＝写真。

パソコン系では、マイクロソフト社のワード講座に35人、エクセル講座に53人、パワーポイント講座に14人、設計のCAD講座に23人、そしてIT国家資格のIPASPORT試験講座に29人が受講。また、ビジネス実務系では、公務員講座15人、簿記講座（1～3級）80人、販売士講座（2級）45人が受講した。

講座の後にはすべて試験（公務員講座のみ採用試験）が予定されており、その合否で努力の成果が問われる。



会場いっぱいに小・中学生の歓声

科学の祭典2010石巻大会

▲ 学生が実験を分かりやすく解説

ユニークな実験や工作を通じ、子どもたちに科学の面白さを知ってもらう「青少年のための科学の祭典2010石巻大会」が8月14、15の両日、本学で開かれた。同実行委員会（委員長＝工藤すばる大学開放センター長）が主催。会場となった講義室や実験室では、多くの家族連れや小・中学生であふれ、実験による発見や驚きの声が会場いっぱいに広がった。

宮城県内の学校や企業、NPOが化学や物理、生物など各ジャンルの実験や工作を体験できる18のブースを開設した。工学博士で元本学教授の亀山紘石巻市長も参加。マイナス196度の液体窒素を使った実験を披露してみせた。

本学の学生たちも大学で学んだ知識を子どもたちに分かりやすく解説し、楽しい実験を繰り広げた。夏休みの自由研究の宿題に役立てようと訪れた子どもたちは、どのブースでも積極的に参加。「理科が大好きになった」「来年も来たい」などと笑顔を見せていた。

科学の祭典は1992年から全国の主要都市で始まり、石巻市での開催は今年で10回目。

地域に学びの機会を提供

サテライトキャンパス企画 8月から3講座スタート

本学は8月から、地域に学びの機会を提供するサテライトキャンパス企画として3つの講座をスタートさせた。会場は石巻市役所市民ホールなど。8月31日から「石巻交流論」、9月1日から「独創塾」、同2日から「元気はつらつ！　健康生活習慣セミナー」をそれぞれ開講した。

「石巻交流論」は交流・交易の視点から石巻の歴史的特徴を見つめ、地域再生の手がかりを探ろうとする経営学部の特別授業で、同学部の教員5人が講師を務める。

「独創塾」はいわば現代の寺子屋。石巻市内の小学5年生を対象に「自分の考えを上手に伝えられるようになりたい」「算数をもっと楽しく勉強したい」など、学ぶ意欲に応え、本学教員が独自の教材を使用して工夫をこらした授業を展開する。

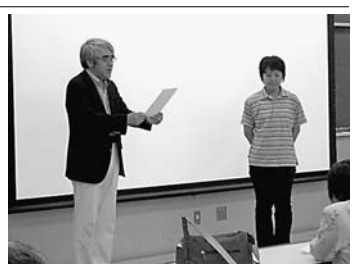
「健康生活習慣セミナー」は食事や運動の基礎知識を学び、健康を増進させるのが目的。山内武巳理工学部准教授がコーディネーターを務め、坂田隆学長が「食品の健康情報の見分け方」と題して話した。

受講生78人に修了証 大学開放講座 10年度閉講式

2010年度みやぎ県民大学「石巻専修大学開放講座」（宮城県教育委員会など主催）の閉講式が7月29日、本学で行われた＝写真。

統一テーマを「知の発展　どこからきたのか　どこへゆくのか」として、5月13日から12回にわたり講座を展開。最終回となるこの日は、西方守理工学部教授が「知の起源―哲学」と題して講義し「知識や技術を生かすも殺すも人間の精神次第だ」と指摘した。

閉講式では講座を10回以上受講した受講生78人に修了証が授与された。大学開放センターの大津幸一教育部会長が「学び続ける限り、人は若くいることができる。これからも頑張ってください」と受講生たちにエールを送った。



本学で全国の大学研究者が熱く討論 日本経営学会 第84回大会

9月2日から5日までの4日間、本学を会場に日本経営学会第84回大会（大会委員長＝晴山俊雄経営学部教授）が開催された。

大会の統一論題は「新たな経営原理の探究」。市場経済と企業の社会性、グローバリゼーションへの対応と課題、企業経営の永続性などについて、全国の大学から参加した研究者が熱心な討議を繰り広げた。

本学からは大坂良宏経営学部教授が「地域経済の活性化―循環型システムの構築と社会活動の連携―」について論じたほか、大学院生のセッションで阿部美和さん（経営学研究科3年）が「内発的動機づけ理論と成果主義批判」について発表した。

2010 石鳳祭 逢～あい～
10/9㊏・10㊐
ライブアーティストは YU-A
実行委員会ホームページ
http://www.isenshu-u.ac.jp/sekiho/